

<被災者の位置>・・・可能なら被災位置の緯度・経度を GPS 等で測定し通報。ヘリ救助の必要性は消防が判断。

| 被災者の位置※ (測地系 WGS84) | 緯度 | 経度 |
|------------------------|------------------|-------------------|
| | 35 度 23 分 30.0 秒 | 134 度 04 分 40.6 秒 |

※携帯電話の GPS 機能が「ON」の状態ですぐに 119 通報すれば、自動的に緯度・経度は消防局へ伝わるので、常に「ON」にする。
通報場所が被災者の位置と離れている場合は、通報場所から被災場所までの距離や方角を必ず伝えること。

<救急車と案内人の合流場所>・・・作業開始前に記入。原則、合流場所は「ゼンリン住宅地図」で説明。

| ゼンリン住宅地図の名称 | 頁／位置 | 合流場所の説明 |
|-------------|-----------|-------------------------------|
| 鳥取市 ③ | P35／I の 1 | 旧緑資源幹線林道若桜江府線の起点の権現橋付近に案内人を送る |

(救急車は砂利悪路で走行不可なので、被災現場付近の未舗装道路は現場の軽トラック等により乗り換える必要あり。)

<応急処置>・・・被災者を安全な場所へ移し応急処置を行う！可能なら合流場所へ向けて搬送する！

| | |
|-------------|---|
| 事故現場は安全か | 他人の安否を気遣う前に、我が身の安全を確保。 |
| 意識の確保 | 話しかけて意識がないときは、痛覚を刺激する。意識がないときは、119 通報する。 |
| 呼吸確認 | 10 秒間、胸と腹の動きを見て呼吸の有無を確認する。 呼吸停止の場合、119 通報し、蘇生術に移る。 呼吸がある場合、安定姿勢に横たえ、治療にあたる。 |
| 蘇生術 | 30 : 2 の「心臓マッサージ：人工呼吸」を生命の兆候が認められるまで続ける。 |
| 怪我の治療 | 清潔な止血帯・三角布・タオル等（感染防止対策）を使用し、止血を行う。 |
| 安定した姿勢で横たえる | 負傷者を覆う、生命機能を常時チェックする。 |